暴走
肉欲の施設長
Presented by パンケーキ
R18
ADULT ONLY
成人向け作品につき
18歳未満閲覧禁止

この施設では
優秀な成績を
残した者に様々な
特権が与えられる

特権貸与者に
選ばれた者は

その日の夕方に
施設長先生の部屋で
詳しい説明を受ける

私がなぜ先生の
部屋に行こうと
思ったのか

施設長室

なぜ部屋を覗こうと
思ったのか

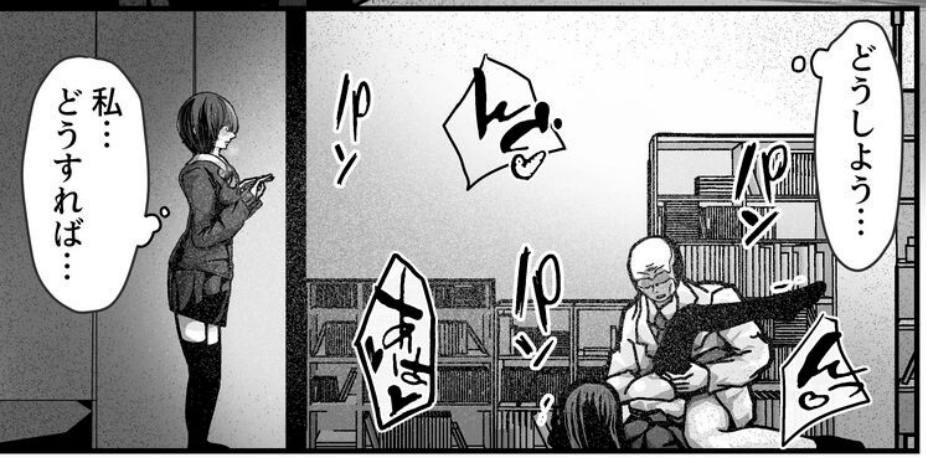
今となっては
分からない

パン
パン
パン
パン
はあ
はあ
はあ
あッ
あッ♥
あッ♥
あ♥

「なんとなく気になった」
ただそれだけのこと
だったと思う

そこには獣のような施設長先生に犯される麻里奈ちゃんの姿があった

パン
パン
パン
パチッ
パチッ
パン
あぁ
あぁ
あっ
あッ
あ
あ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ



あぐぅ♥
パン
パン
パン
パン
おっ♥
くぉぉ♥
おぐぉぉ♥
す…すごい…
これがセックスなんだ…
麻里奈…
そろそろ…
麻里奈ちゃんもよく見たら気持ちよさそう…
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ずん
ずん
ずん
パチュッ
パチュッ
パチュッ
パチュッ
パチュッ
パチュ
おっ♥
あぁぁ♥
もしかして二人は恋人同士…
なのかな…？

イクぞっ……！
しっかり搾り取るんだぞっ！
ずぷっ
ずぷっ
ずぷっ
ずぷっ
ずん
ずん
んぁぁ♥
ビュルルルル
びくんっ
びくんっ
びくんっ
びくんっ
びくんっ
びくんっ
ぶるっ
しゅぷっ
しゅぷっ
んぁっ♥
ドプッ
ドプッ

な…なんだか…
はぁ
はぁ
はぁ
体…熱い…変な気分……
ガク
ガク
ガク
ツー
ガクッ
と…とにかく
はぁ
はぁ
誰かに相談しよう…
チュッ
!?
クル
ラッ
メリ
ひ…
やばいバレたどうしよう…
ガシッ

でもちゃんと謝れば…
絶対に言わないって約束すれば…
大丈夫だよね…？

酷い事しないよね…？

はぁ

し…施設長先生っ
私…何も――

それからのことはあまり覚えていない

私はめちゃくちゃに犯され

気が付いたら朝になっていた

由紀ちゃん…起きた…？
はあ
はあ
ま…りな…
ちゃん…
ごめん…私…先生に脅されて…
言う通りにしないと他の子を犯すって…なのに由紀ちゃんまで…
その時麻里奈ちゃんから聞いた話を整理すると
特権貸与者に選出されるのは成績が優秀な者ではなく単に施設長先生の好みの娘が選ばれるということらしい
そして説明を行うと言って呼び出しその度に脅して犯し今までに何人もその毒牙にかけていたそうだ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
コポッ
コポッ
ドロォ…
ひくッ
ひくッ

……酷い…
あんなことするなんて…
あんな…こと…
まるで獣…
私…これからどうすれば…
由紀ちゃん
そうだ！能登先生なら…
能登先生に話せばどうにかしてくれるに違いない！
由紀ちゃん

由紀

ぴくっ！

ひっ…

ムワッ

あっ…

麻里奈ちゃんから聞いてると思うけど

他の人に話したら由紀ちゃんの大事な友達も

犯しちゃうからね？注意するんだよ？

……

は…はい…

うんいい返事だぁ…

今は我慢…

従順な感じで少しでも油断させて
一刻も早く能登先生に相談しよう…
でも昼間は常に施設長先生が監視してる…隙を見て会いに行くことは可能だけど
短時間の説明でこんな話を素直に信じてくれるとも思えないし…ある程度まとまった時間が欲しい…
そうなると夜中…
みんなが寝静まった後しかない…

この施設は21時が消灯時間になっているが
大抵の先生はまだ起きてることが多く能登先生の部屋からも光が漏れていた
メリッ
あら…？由紀ちゃん…？
先生の顔を見た瞬間張りつめていた緊張や恐怖から解放され一気に感情がこみあげた
あらあらどうしたの…？
先生っ…！
ギュッ
のっ…能登先生…！

うっ…
うぅっ…

とりあえず中に入りなさい
今温かいココアを
入れてあげるからね

ブル

ギュッ

ブル

それから
施設長先生に
されたことを

出来る限り
伝わるよう
努力し
先生に話した

先生は半信半疑の
ような感じではあったが

すぐに上官に報告する
ことを約束してくれた

よし…これで
大丈夫だ…

これで
うまくいく…

全部元通りに
戻るんだ…！

そう思っていた
私がバカだった

パチッ

え!?何!?停電…？

!?

メッ

きゃあッ!?

能登先生!?どうしたの？

シーン…

せ…先生？

あ…で…電気つけなきゃ スイッチ…スイッチどこ？

あれ…？ないよ…もおぉ…

ドッ

ドッ

ドッ

え？

あ…こ…これかな…？

ぎゅ

ん？

ゆ…由紀ちゃん…

はい…？

パン

パン

パン

はあ

はあ

はあ

だ…ダメ…つけないで…

パン
パチュッ
パン
パチュッ
パチュッ
パチュッ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
え…っ？
パチュッ
ポタッ
ポタッ
ポタッ
先生!?
ずん
ずん
ずん
ずん
ずん
嫌…見ないで…
あ…あたし
すぐに助けをっ…
やめて!!

由紀ちゃん…いいの…
こんなの…誰にも見られたくない…から…
はあ
ぐぷ
ぐぷ
ぱん
ぱん
私が我慢すればいいだけだから…
だから由紀ちゃんもう部屋に戻って…
そ…
んな…
んぐッ
ぐぷッ
ぐぷッ
ぐぷッ
ぱん
ぱん
ぱん
ぶるんッ

能登先生のまんこたまんねぇなおい…
酷い…
能登先生まで…
嫌だ…こんなの…
なんでこんなことに…
ん？なんだ…由紀ちゃんも興味あるのかい？

ほら…好きなだけ見ていいんだよ？

はあ

ドクッ

ガバッ

!?

ちょっ ひくっ

かあぁっ

い…嫌…見ないで…

……

ふふ…由紀ちゃんのせいで能登先生がひどい目に合っちゃうね

ほら…あの時計

あれにはカメラが内蔵されていてね由紀ちゃんが来たのもすぐに分かってさ

いつも能登先生をおかずにしてたけど

さすがに犯すのはまずいと思って我慢していたんだ

ジーッ

ジーッ

20XX/09/30 21:3

でも由希ちゃんのおかげで決心できたよ

ぶち犯してやろうってね

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

ありがとね由紀ちゃん

ずん

ずん

パン

パン

パン

パン

んぐッ

おぉぉ

おっ♥

ずん

能登先生が目の前で犯されているのに

その光景を見ている事しか出来なかった

ずっと揉みたかったデカ乳たまんねぇ…

施設長先生への恐怖が私を束縛し

何もすることが出来なくなっていた

ペロ
ペロッ
ペロッ
ぎゅるるっ
ズプッ
ズプッ
ぎゅ
ズプッ
ズプッ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
やっべぇ…能登先生…そんな締め付けられるともうでちゃいますよ～？
べ…別に締め付けてなんか…
そ…んなんじゃ…
ぶるんっ
ずんっ
ずんっ
ぶるんっ
ぶるんっ
ずんっ
ぶるんっ

うほっ！きいもちいい～
何これ!?こんな奥までっ…!?
こんなの…知らない…
ダメ…これっ…
あ…頭おかしくなる――

ほらぁっ…！ちんぽミルクいっぱい受け止められるように

ちゃんと準備するんですよぉ？

そろそろイきますよぉ～

いっ…いやぁ

孕めっ！孕めぇぇぇ！

ほぉ〜〜〜♡
ビクビク♡
ビクビク♡
ぴゅるるッ
ぴゅるるッ
ビッブッブッ♡
ビクッ♡
おぉ♡
おぉ♡
おぉぉ♡
ドプッ
ドプッ
ドプッ
ドプッ
ドプッ
ドプッ
ドプッ
ドプッ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
たまんねぇ〜
最高だぁ…
だめって…
だめって
言ったのにぃ…

無論一発で終わる訳もなく

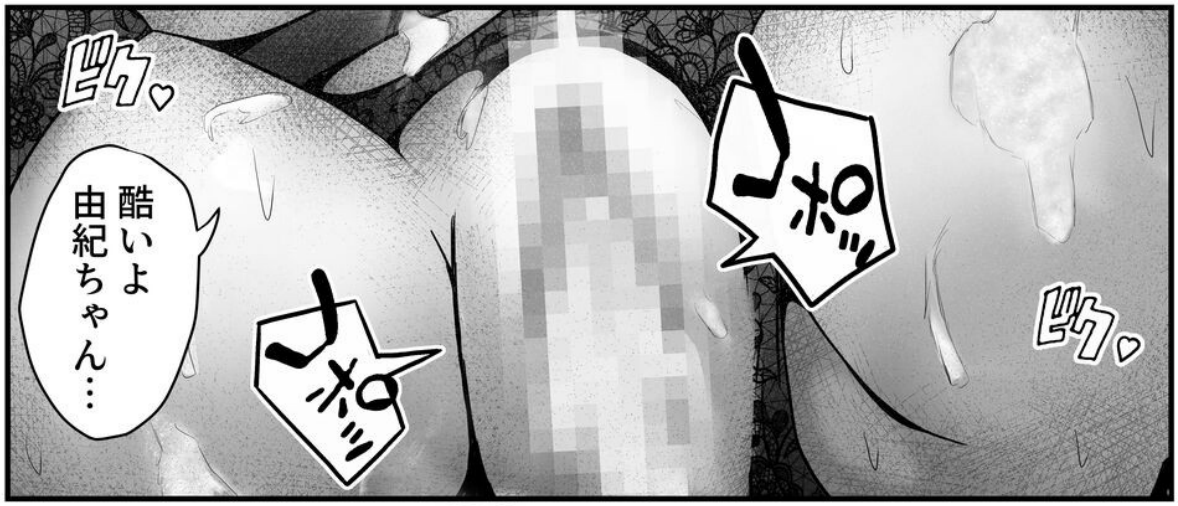
何度も…

何度も…

その後能登先生は犯され続けた

施設長先生による能登先生への凌辱は夜明けまで続いた

しかも避妊はいっさいせず全て中に出されていた



見ないでって言ったのに…

ビクッ

ビクッ

ガクッ

ガク

ガク

ガク

だめ♡

ガーマンなら

半ば放心状態の私は結局最後まで見ているだけしかできなかった

もう誰を頼ればいいのかも

どうすればいいのかも分からない

これから毎日施設長先生に怯えて過ごすことになるという事実

か…加奈子ちゃん!?

言ったろ…？話したらお前の友達を犯すって

お前が悪いんだぞ…お前が裏切ったから加奈子はこんな酷い目にあったんだ

え…私が…私が加奈子ちゃんを…？

こんな事続けていたら絶対に壊れてしまう

もう嫌…無理…

限界だよ…耐えられない…

とてつもない
ストレスに
さらされて

私の防衛本能は
活性化し

いっ…いやぁ♥

その結果
はじき出された答えは

自らの感情を
消滅させ

あっ♥

あぁ♥

あぁあッ♥

あ〜ッ♥

ずん。

ずん。

ずん。

ずん。

ポッ

ポッ

ポッ

ポッ

考えることを
やめさせることだった

いたいッ
抜いてぇェェッ

あぐオッ

ぉっ♥
おぼッ

だ…誰カッ
たすけッ

ポッ

ポッ

ポッ

ポッ

あとがき

この度は本書をご購入いただき、誠にありがとうございます。
施設長先生の暴れっぷりを楽しんでいただけましたでしょうか？
今回はもっと描きたいという思いが強くて、具体的にいうと
施設長先生がメスガキをわからせる話とか、
NTRからの快楽堕ちとか、そういう話描いてみたいです。
他にも作りたい話がいくつかあるので何をやるかはわかりませんが、
全力で描いて良いものになるように頑張るので、次回作もよろしくお願いします！
また機会がありましたらお会いしましょう:)

（作品についての感想・他問い合わせなどございましたら
下記のメールアドレス・Twitterまでお願いいたします。）

おくづけ

発行日　2022/1/27

発行　　パンケーキ

連絡先　メール　→　pankeki411@gmail,com
　　Twitter →　pankeki411

この物語はフィクションです。
実在の人物・団体などとは関係ありません。
本書の一部及び全部の無断複写、複製、
転載、インターネット上へのアップロード等を禁じます。

Purchase Made by HentaiOmg.Com